

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 5 月 27 日 (2021.5.27)

【公開番号】特開 2020-144384 (P2020-144384A)
 【公開日】令和 2 年 9 月 10 日 (2020.9.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-037
 【出願番号】特願 2020-78865 (P2020-78865)
 【国際特許分類】

G 1 0 L 19/008 (2013.01)

G 1 0 L 19/00 (2013.01)

H 0 4 S 7/00 (2006.01)

【F I】

G 1 0 L 19/008 1 0 0

G 1 0 L 19/00 3 3 0 B

H 0 4 S 7/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 4 月 9 日 (2021.4.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

符号化された方向性信号と符号化されたアンビエント信号を含む圧縮された高次アンビソニックス (H O A) 信号を圧縮解除する、圧縮解除装置によって実行される方法であって、

前記圧縮された H O A 信号を受信することと、

前記圧縮された H O A 信号を知覚復号化し、復号化された方向性 H O A 信号と復号化されたアンビエント H O A 信号を生成することと、

前記符号化された方向性信号に関連するサイド情報を取得することであって、前記サイド情報は、均一に間隔が空けられた向きの組から選択された前記方向性信号の向きを含む、ことと、

前記復号化されたアンビエント H O A 信号に対して前記サイド情報に基づいて次数拡張を実行して、前記復号化されたアンビエント H O A 信号の表現を得ることと、

前記復号化されたアンビエント H O A 信号の表現と前記復号化された方向性 H O A 信号から、復号化された H O A 表現を再構成することと、を含む、

方法。

【請求項 2】

前記復号化された H O A 表現が 1 を超える次数を有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記復号化されたアンビエント H O A 信号の次数が、前記復号化された H O A 表現の前記次数より小さい、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

符号化された方向性信号と符号化されたアンビエント信号を含む圧縮された高次アンビソニックス (H O A) 信号表現を圧縮解除する装置であって、

前記圧縮された H O A 信号を受信する入力インタフェースと、

前記圧縮されたH O A信号を知覚復号化し、復号化された方向性H O A信号と復号化されたアンビエントH O A信号を生成するオーディオデコーダと、

前記符号化された方向性信号に関連するサイド情報を取得する手段であって、前記サイド情報は、均一に間隔が空けられた向きの組から選択された前記方向性信号の向きを含む、手段と、

前記復号化されたアンビエントH O A信号に対して前記サイド情報に基づいて次数拡張を実行して、前記復号化されたアンビエントH O A信号の表現を得るプロセッサと、

前記復号化されたアンビエントH O A信号の表現と前記復号化された方向性H O A信号から、復号化されたH O A信号を再構成する合成器と、

を含む、

装置。

【請求項5】

前記復号化されたH O A表現が1を超える次数を有する、請求項4に記載の装置。

【請求項6】

前記復号化されたアンビエントH O A信号の次数が、前記復号化されたH O A表現の前記次数より小さい、請求項5に記載の装置。

【請求項7】

プロセッサによって実行されたときに請求項1に記載の方法を実行する命令を含む非一時的コンピュータ読み取り可能記憶媒体。